

ESG+SDGs

Social オフィス環境の整備

コロナ禍を経て、テレワークをはじめ働き方に変化が求められる中、時代にあったオフィスの規模と機能を検討した結果、オフィス環境の整備による業務効率及び生産性の向上を図るため、本店を移転しました。今後、他の事業所についてもオフィス環境の整備を進めてまいります。



会社情報、株式情報

Corporate Data / Stock Information

会社概要 (2022年12月31日現在)

商号	株式会社ビジョン
創業	平成7年6月
設立	平成13年12月
本店所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア8階
資本金	2,535,941,000円
従業員数	500名 ※当社グループの従業員数 649名 ※上記従業員数には、使用人兼務役員及び臨時従業員 (パートタイマー及び派遣社員)は含んでおりません。
事業内容	1. グローバルWiFi事業 海外事業、国内事業 2. 情報通信サービス事業 固定通信事業、移動体通信事業、ブロードバンド事業、 OA機器販売事業、インターネットメディア事業 3. グランピング・ツーリズム事業 4. その他

役員 (2023年3月30日現在)

代表取締役会長	CEO	佐野 健一
代表取締役社長	COO	大田 健司
取締役	CFO	中本 新一
取締役	※	内藤 真一郎
取締役	※	原田 静織
取締役	※	那珂通 雅
常勤監査役	※	梅原 和彦
常勤監査役	※	丹羽 哲也
監査役	※	茂田井 純一
監査役	※	寛角 淳

※社外役員となっております。

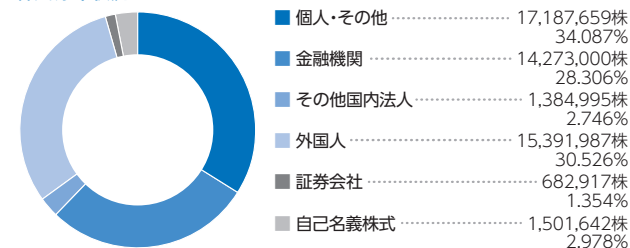
株式の状況 (2022年12月31日現在)

発行可能株式総数	123,000,000株
発行済株式の総数	50,422,200株
株主数	8,153名

大株主

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
佐野 健一	11,507,500	23.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,752,300	13.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,404,400	13.09
INTERACTIVE BROKERS LLC	2,507,300	5.13
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,366,742	2.79

株式分布状況



※株式数比率について
小数点第4位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。

株主メモ

証券コード 9416	剰余金の配当の基準日 12月31日、6月30日
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場	1単元の株式数 100株
事業年度 1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3か月以内	事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
基準日 12月31日	

郵送物送付先
〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社
証券代行部
☎0120-288-324
各種手続取扱店
みずほ信託銀行株式会社 本店・支店
みずほ証券株式会社 本店・支店

公告掲載方法
電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.vision-net.co.jp/>
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。



株式会社ビジョン
〒160-0022
東京都新宿区新宿六丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア8階



BUSINESS REPORT

Vol.8

2022年1月1日▶2022年12月31日

株式会社ビジョン

証券コード：9416

「VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖」をオープン

「VISION GLAMPING Resort & Spa」の第一弾となる「こしかの温泉」(鹿児島県霧島市)に引き続き、第二弾として、都内から90分、富士山を眺める絶好のロケーションに独自の全室完全“プライベートスペースグランピング”を実現する「VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖」を開業しました。

Point

- (1) 都心から近い山中湖のリゾート
- (2) 全室、富士山を眺められる希少なロケーション
- (3) 外部の視線を気にせずに滞在可能
- (4) 専用の露天風呂にテントサウナと富士山天然水の水風呂
- (5) ペットとの滞在可能な客室もご用意
- (6) 余裕たっぷりの滞在スペース
- (7) スタッフと直接の接触を最小限に抑えてチェックイン
- (8) 手ぶらで楽しめるバーベキュー、地産地消の食事
- (9) 富士山・山中湖近隣のアクティビティをご案内

ホームページはこちら

<https://vision-glamping.com/yamanakako>



株主優待制度について

当社では、株主の皆様の日頃からのご愛顧、ご支援への感謝の気持ちを込め、株主優待制度をご用意しています。

優待内容

- 当社サービスである国内外でモバイルインターネット通信が行えるWi-Fiルーターレンタルサービス「グローバルWiFi」の利用券及び当社運営のグランピング施設&温泉旅館の宿泊利用券を保有株式数に応じて贈呈。

保有株式数	基準日	
	毎年6月30日	毎年12月31日
100株以上200株未満	3,000円分×2枚	3,000円分×2枚
200株以上300株未満	3,000円分×3枚	3,000円分×2枚
300株以上	3,000円分×3枚	3,000円分×3枚
送付時期	毎年8月	毎年3月
備考	到着日より利用可能	到着日より利用可能

ご利用方法・お問い合わせ先

株主様専用ページ (<https://vision-net.co.jp/stocks>) をご利用ください。
お電話でのお問い合わせ 受付時間 09:00~18:00
株主様専用ダイヤル 0120-390-388
※詳細は、「株主様ご優待券」記載の諸注意事項をご確認ください。

株主様専用ページはこちら

<https://vision-net.co.jp/stocks>



株主様ご優待券イメージ



世界各国の入国制限の緩和・全廃の動きを受け、アウトバウンド・インバウンドの利用が回復しつつあります。

国内外で航空旅客需要が回復してきました。ビジョングループはコロナ禍の中、これまで3年間にわたり外部環境の変化に左右されない強い組織づくりのため様々な取組みを進めてきました。海外渡航の本格回復に向けコロナ前を上回る成長を目指す——その準備は整っています。

代表取締役会長 CEO
佐野 健一

Q 2022年12月期決算のポイントについて、お聞かせください。

当期は売上高254億円（前期比40.8%増）、営業利益24億円（同118.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益15億円（同112.4%増）と、売上・利益とも前期実績を大幅に上回る結果となりました。

グローバルWiFi事業では、成長戦略の一環として積極的に拡販してきた国内Wi-Fiや法人向け社内常備型「グローバルWiFi for Biz」、さらに空港検疫所における水際対策の受託業務、PCR検査が堅調に推移しました。また、主力であるアウトバウンドの利用も徐々に回復しつつあり、第4四半期では海外渡航者数がコロナ前の2019年同期比23.1%回復する中、レンタル件数が同23.7%、売上高が同45.2%まで回復

しています。コロナ前の水準には及ばず道半ばといった状況ですが、復調の兆しが見えてきたと感じています。

情報通信サービス事業では、既存事業の移動体通信機器、OA機器の販売に加え、2021年12月に子会社化した株式会社あどばるによるスペースマネジメント事業（会議室・テレワークスペースのレンタルサービス）を開始いたしました。

また、当期よりグローバルWiFi、情報通信サービスに次ぐ第三の新たなセグメントとしてグランピング・ツーリズム事業を展開しています。株主優待もありますので、ぜひ皆様にも当社グループが運営する施設を体験いただければと思います。

業績ハイライト						
	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期(予想)
(単位：百万円)						
売上高	21,503	27,318	16,654	18,100	25,487	26,553
営業利益	2,484	3,325	103	1,105	2,414	3,000
営業利益率(%)	11.6	12.2	0.6	6.1	9.5	11.3
経常利益	2,499	3,358	227	1,143	2,422	2,998
親会社株主に帰属する当期純利益	1,529	2,226	△1,183	729	1,548	1,990
総資産	13,552	15,173	11,313	14,932	17,951	—
純資産	9,803	10,905	8,769	10,122	12,039	—

Q 各セグメントの状況はいかがでしたか？

グローバルWiFi事業は、売上高143億円（前期比58.6%増）、セグメント利益30億円（同197.9%増）と大幅な増収増益となりました。アウトバウンドの利用が徐々に回復傾向となる中、テレワーク兼用として需要が増加する「グローバルWiFi for Biz」、テレワーク・リモート会議などビジネス利用に加え、一時帰国など国内における各種利用ニーズを捉えた国内Wi-Fi、空港検疫所における水際対策の受託業務や各種イベント・帰省時などのPCR検査が堅調に推移し、業績を下支えています。

情報通信サービス事業は、売上高106億円（前期比20.6%増）、セグメント利益7億円（同31.4%減）の増収減益となりました。物販については、仕入れにおいて半導体不足などの影響が一部で起きているものの複数の商品・サービス・販売チャネル

Q 今期（2023年12月期）の取組みについて教えてください。

今期については、2022年12月時点の状況・予想に基づき売上高4.2%増、営業利益24.3%増、親会社株主に帰属する当期純利益は28.6%増を計画しています。

グローバルWiFi事業では、空港検疫所における水際対策の受託業務及びPCR検査の終了を前提とし、航空機の便数がコロナ前の水準には戻っていないことなどを鑑み減収減益を見込んでいます。しかしながら足下では回復速度が想定以上に早まっており、現時点では回復が一層加速することでグローバルWiFiやNINJA WiFiではコロナ前の業績を更新する可能性もあると考えています。

情報通信サービス事業では、将来的なアップセルやクロスセ

を持つ強みを活かし、迅速な配置転換など環境変化に柔軟に対応することで堅調に推移しました。一方、強い収益基盤の構築、ライフタイムバリュー（顧客生涯価値）の最大化に向け月額制自社サービスへの移行を進めていることから一時的にコストが先行し、利益を押し下げる要因となっています。

グランピング・ツーリズム事業は、2022年4月に鹿児島県霧島市の「こしかの温泉」を「VISION GLAMPING Resort & Spa こしかの温泉」としてリニューアルオープン、続いて12月に富士山の麓の山中湖畔に「VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖」をオープンし、営業を開始しています。当期は売上高として3億円を計上しましたが、同時に成長に向けて先行投資を進めた結果、セグメント損失は1億円となりました。

ル、月額制自社サービス強化の取組み、会議室のレンタルサービスの需要拡大から、増収増益を見込んでいます。持続的成長の実現を目指し、引き続き収益の積み上げに取組んでまいります。

新しく立ち上げたグランピング・ツーリズム事業については、まだ小さい数字ではありますが利益計上を見込んでいます。当期中に様々な投資を行うことで準備は整っており、インバウンド利用の拡大を含め計画を上回る数字を目指します。

ビジョングループでは、引き続き既存事業の生産性向上及び新規事業の育成により強い収益基盤の構築に取組み、企業価値向上を目指してまいりますので、引き続き応援の程よろしくお願い申し上げます。

ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた成長戦略

Growth Strategy

既存事業の領域では「生産性の向上」、新規事業・サービス構築の領域では「3つ目の柱となる事業の育成」という方針の下、それぞれのターゲット顧客へ向けて、これからのニューノーマル時代に即した新しい価値の創出、新サービスの提供に努めていきます。

